

芭蕉ゆかりの聖地  
出羽三山での  
俳句大会

## 第64回「奥の細道」

# 羽黒山

令和四年十月三十日(日)

# 全国俳句大会

●選者

伊藤 伊那男氏(いとういなお)

昭和二十四年七月七日、長野県駒ヶ根市に生まれる。伊那北高等学校、慶應義塾大学法学部政治学科を卒業。仕事は野村證券、オリックス、金融会社経営を経た後、令和二年五月まで神田神保町にて酒亭「銀漢亭」を経営する。

俳句は昭和五十七年、皆川盤水の「春耕」に入会。平成二十三年「銀漢」を創刊主宰。句集に「銀漢」(俳人協会新人賞受賞)、「知命なほ」、「然々と」(俳人協会賞受賞)、評論に「漂泊の俳人 井上井月」、「エッセイに「銀漢亭」はれ斬」そして京都」がある。

日本文藝家協会会員、俳人協会評議員。

●選者

対馬 康子氏(つしまやすこ)

昭和二十八年、香川県高松市生まれ。高松高校、日本女子大学国文学科を卒業。のちに夫となる西村我尼吾氏に勧められて俳句を始める。

昭和四十八年、中島誠雄の「麦」に入会。平成二年、有馬朗人の「天為」創刊に参加。二十七年文部科学大臣賞表彰、荒川区特別功労者表彰を受け。平成三十一年桂信子賞受賞。句集に「愛国」「純情」「対馬康子集」「天之」「竟鳴」など、共編著「新撰21」「超新撰21」「現代俳句の鑑賞事典」。

「麦」会長、「天為」最高顧問、現代俳句協会副会長、東京都俳句連盟副会長、国際俳句協会理事。

# 第六十四回『奥の細道』羽黒山全国俳句大会

概要◆俳聖「松尾芭蕉」が出羽三山を訪れ、多くの名句を残した元禄二年。その『奥の細道』の聖地は、多くの俳人たちに愛され現在に受け継がれています。時を経て昭和三十一年に高浜虚子翁の来山を機に、昭和三十四年から羽黒山全国俳句大会を継承してまいりました。

昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く現状を踏まえ、参加者および関係者の皆様の健康と安全が最優先と考え、中止とさせていただきますが、本年は愈々開催する運びとなりました。予てよりお迎えすることになっておりました伊藤伊那男先生に御来山いただき、また、対馬康子先生には選句のみをお願いし、羽黒山全国俳句大会を左記要項にて開催いたします。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。また、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、日程の変更や大会の中止等が生じる場合がございます。

『前夜祭』は本年中止となります。

## 〈一般の部 兼題 投句要項〉

兼題の部◆自由題、未発表句二句一組(何組でも可)

選者◆伊藤伊那男先生(「銀漢」主宰)

対馬 康子先生(「麦」会長、「天為」最高顧問)

投句料◆一、〇〇〇円(二句一組に付き)

締切◆令和四年九月五日(月)まで必着。

投句先◆『奥の細道』羽黒山全国俳句大会実行委員会事務局

投句◆応募用紙に必要事項を記入の上、投句料を同封し郵送のこと。

★投句者全員に、句集「南谷」をお送りいたします。

## 〈本大会 投句要項〉

期(日)◆令和四年十月三十日(日) 午前九時三十分開会

受付◆午前八時三十分

投句◆出羽三山当季雑詠(二句一組)

投句締切◆開会行事終了後

場所◆いでは文化記念館

会費◆二、〇〇〇円(投句料・昼食)

選者◆伊藤伊那男先生(「銀漢」主宰)

## 〈子どもの部 投句要項〉

投句締切◆令和四年九月五日(月)まで必着。

投句料◆無料(一人一句)

対象◆小学四年生〜中学三年生(原則)

題材◆身のまわりの物事で、見たり聞いたりして

自分が感じたこと、出羽三山や最上川、松尾芭蕉、

奥の細道のことなどを投句してください。

選者◆伊藤伊那男先生(「銀漢」主宰)

対馬 康子先生(「麦」会長、「天為」最高顧問)

※一般の部子どもの部共に、類句二重投句(他の俳句大会、結社誌、雑誌などに発表した句)については、審査のうえ、入選を取消すことがあります。

〈大会事務局お問い合わせ、投句先〉 第六十四回『奥の細道』羽黒山全国俳句大会実行委員会事務局

〒九九七〇二九二 山形県鶴岡市羽黒町手向字手向七番地 電話〇二三五―六二―二三五五 FAX〇二三五―六二―二三五二

●主催 第六十四回『奥の細道』羽黒山全国俳句大会実行委員会(出羽三山神社・鶴岡市)

●後援 山形県・鶴岡市教育委員会・羽黒吟社・羽黒町観光協会

●協賛 角川文化振興財団・山形県観光物産協会・庄内たがわ農業協同組合・奥の細道観光資源保存会・(株)交コーポレーション



## 本大会

■十月三十日(日) いでは文化記念館

午前八時三十分〜 席題発表・受付

午前十時〜 開会 あいさつ

午前十時三十分 投句締切

午前十時三十分〜 記念講演

午前十一時五十分〜 記念撮影

正午〜 昼食

午後一時〜 兼題の部・本大会の部 選評

午後二時三十分〜 表彰

午後三時三十分〜 閉会

## 子どもの部

■十月二十九日(土) いでは文化記念館

午後一時三十分〜 受付

午後二時〜 選評・表彰

記念撮影

※午後四時終了予定